

議第3号議案

ラファへの総攻撃の中止と人道的停戦を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和6年3月11日

提出者

東大和市議会議員	関	綾子
〃	早川	美穂
〃	尾崎	利一
〃	上林	真佐恵
〃	高峰	章
〃	金井	康哲
〃	床鍋	義博
〃	中野	志乃夫

ラファへの総攻撃の中止と人道的停戦を求める意見書

イスラエルがパレスチナ・ガザ地区南部ラファへの総攻撃を行う姿勢を見せている。ガザの保健当局によれば、2月28日時点でガザの死者は2万9,954人となり、3万人に迫っている。停戦に向けた協議が難航する中、イスラエル軍のガザ攻撃は続き、さらに避難民など約150万人が密集するラファへの攻撃については、国際社会からも強い反対の声が上がっている。国連のグリフィス事務次長は、「(地上作戦の実施は) 虐殺につながり、ただでさえ脆弱な人道支援活動を死の淵に放置することになる」と警告している。2月20日、国連安全保障理事会の緊急会合が開催され、アルジェリアがアラブ諸国を代表して提出した「すべての当事者が尊重すべき即時人道的停戦」を要求する決議案は、日本を含む13か国が賛成、英国が棄権し、米国が拒否権を発動した。しかし国際社会は、国際法に違反する残虐極まりない大虐殺と民族浄化を今すぐにやめさせるため、イスラエル政府に停戦を求めなくてはならない。

ハマスによるテロ行為は決して許されないが、現在ガザ地区で幼い子どもや女性、高齢者、障害者など民間人に対して行われている大虐殺を正当化することはできない。

よって、東大和市議会は、日本国政府に対してラファへの総攻撃の中止と人道的停戦をイスラエル政府に求めるよう要請するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。